

令和4年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	夏秋どり栽培向け四季成り性いちご品種「夏のしずく」		
[要約] 東北農業研究センター等との共同育種により、夏秋どり栽培向け四季成り性いちご品種「夏のしずく」を育成した。本品種は「なつあかり」、「夏の輝」と比較して、収量性が高く、果実硬度に優れる。					
キーワード	いちご	夏秋どり栽培	品種	園芸技術研究部 南部園芸研究室	

1 背景とねらい

県内で普及しているいちごの夏秋どり栽培向け品種は、民間育成品種は自家増殖が制限されているものが多く、公的機関育成品種では4月以降の連続出蕾性や、高温時の果実硬度に課題があることから、自家増殖可能で果実硬度に優れ、収量性の高い品種の育成が要望されている。

そこで、本研究課題では、東北農業研究センター等との共同育種により、夏秋どり栽培向け品種の育成を進めた結果、四季成り性品種「夏のしずく」を選抜したので、その特性を紹介する。

2 成果の内容

(1) 来歴

「夏のしずく（旧系統名：イチゴ盛岡 37 号）」は農研機構東北農業研究センターにおいて、「みやぎきなつはるか」に「06sAB-4e（「なつあかり」×盛岡 30 号）」を交配し、本県と東北農業研究センター、青森県、宮城県、秋田県、山形県との共同育種により育成選抜された品種である（2021 年 3 月 4 日に品種登録出願公表）。

(2) 「夏のしずく」の品種特性

ア 草姿は立性で、草勢は強く、芽数が増えやすいため大株となる（表 1）。

イ 収量性に優れ、商品果収量は「なつあかり」より 51%、「夏の輝」より 35%多い（表 2）。

ウ 果形は円錐～長円錐形で、果皮色は赤、果肉色は淡赤で糖度、酸度は「夏の輝」と同程度である（表 3、図 1）。

エ 果実硬度は果実の頂点、赤道部ともに高く、作業性に優れる（表 3）。

オ ランナー発生数は多く、十分な増殖性を持つ（表 1）。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 秋期に果形が細長くなる場合がある。
- (2) 栽培方法は現在検討中であるが、大株になるため、株間は 25～30cm 以上とする（参考資料(2)）
- (3) 種苗は「農研機構育成品種の種苗入手先リスト」に記載のある事業者が販売している。
- (4) 自家増殖を行う場合には、農研機構による許諾（無料）が必要である。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 県内全域 いちご生産者、農業普及員、JA 営農指導員
- (2) 期待する活用効果 県内約 0.2ha に導入され、多収化が図られる

5 当該事項に係る試験研究課題

(H25-03-2000) 地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定[H25-03/県単独]

6 研究担当者

佐藤聡太、熊谷拓哉

7 参考資料・文献

- (1) 農研機構 成果情報（2020）「多収性の夏秋どり栽培向け四季成り性イチゴ品種「夏のしずく」
- (2) 農研機構 パンフレット（2022）「四季成り性イチゴ「夏のしずく」
- (3) 農研機構 成果情報（2003）「夏秋どりに向くイチゴ四季成り性品種「なつあかり」及び「デコルージュ」
- (4) 農研機構 成果情報（2012）「暖地や温暖地の夏秋どり栽培に適した四季成り性イチゴ品種候補「久留米 61 号※」※「久留米 61 号」は「夏の輝」と同。

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表 1 生育特性

	草姿	草勢	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉身長 (cm)	小葉幅 (cm)	芽数 (個)	ランナー 発生数(本)
夏のしずく	立性	強	33.5	28.7	9.8	7.5	4.2	14
なつあかり	中間	強	30.9	23.9	10.2	8.0	2.8	12
夏の輝	中間	中間	32.4	25.7	10.5	7.6	3.5	12

注 1) 2018～2020 年定植作（7 月調査）の 3 か年平均。ただし、ランナー発生数のみ 2020 年 8 月調査の値。

表 2 株あたり収量及び商品果規格内訳

品種	収穫時期		商品果 収量 (g/株)	商品果規格内訳 (g/株)							規格外 (g/株)	商品果率 (果重 %)	商品果 1 果重 (g)
	始期	打切		2L	L	M	S	SS	A	B			
夏のしずく	5/27	10/31	609.6 a	91.9	27.7	57.7	52.6	60.1	124.6	195.0	271.8	69.2	11.4
なつあかり	5/18	10/31	394.6 b	34.5	17.1	38.7	26.6	32.0	133.7	112.0	197.7	66.6	12.4
夏の輝	5/18	10/31	435.6 ab	58.5	10.5	16.4	18.1	18.3	95.4	218.4	323.1	57.4	11.3

注 1) 2018～2020 年定植作の 3 か年平均。

注 2) 収穫始期は 2020 年定植作

注 3) 商品果規格は岩手県青果物等標準出荷基準（北の輝）に準ずる。ただし、2L 及び 3L は重量基準が同じため合算している。

注 4) 異なる英小文字間には Steel-Dwass の多重検定により 1%水準で有意差があることを示す。

表 3 果実特性

	果形	果皮色	果肉色	光沢	瘦果 深度	糖度 (Brix, %)	酸度 (クエン酸換算%)	頂点硬度 (gr/6mm φ)	赤道部硬度 (gr/6mm φ)
夏のしずく	円錐～ 長円錐	赤	淡赤	やや強	中	7.7 a	0.80	491.1 a	621.2 a
なつあかり	短円錐	赤	赤	中	やや浅	8.6 b	0.75	425.0 b	443.9 b
夏の輝	短円錐～ ひし形	赤	赤	中	中	7.6 a	0.81	425.8 b	470.6 b

注 1) 2018～2020 年定植作の 3 か年平均。

注 2) 異なる英小文字間には Steel-Dwass の多重検定により 1%水準で有意差があることを示す。

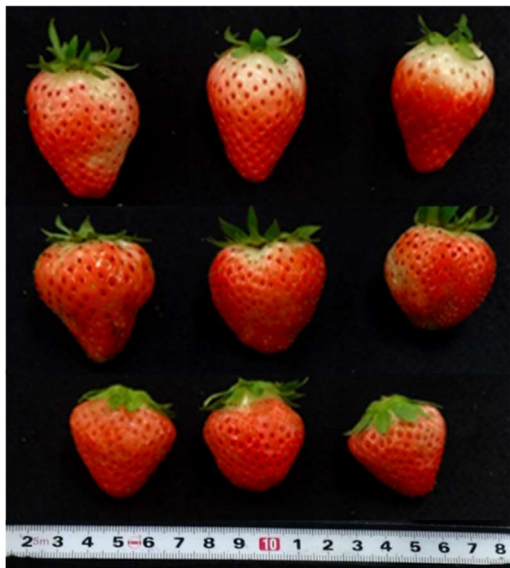


図 1 果実外観（2020 年 8 月調査）

注) 上から順に「夏のしずく」、「なつあかり」、「夏の輝」

耕種概要

【育苗管理】

8 月中旬採苗、挿し苗、10.5cm ポット育苗。

【栽植様式】

うね間 150cm のダブルベンチに株間 20cm、1 条植 (6,667 株/10a)。

不織布ハンモック栽培槽、ヤシ殻培地。

【栽培管理】

3 月中旬定植。

芽数半放任（どろ芽のみ摘除）、摘花なし。

施肥はタンクミックス F&B を使い、給液 EC0.3～0.8 で管理。

クローン温度制御なし。

電照は「なつあかり」のみ、1 回 2 週間の 24 時間日長処理を 2 週

間隔で実施（5～9 月）。

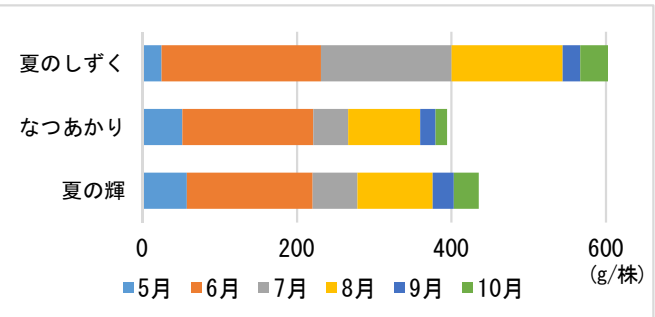


図 2 株あたり時期別商品果収量（参考）

注) 2018～2020 年定植作の 3 か年平均。